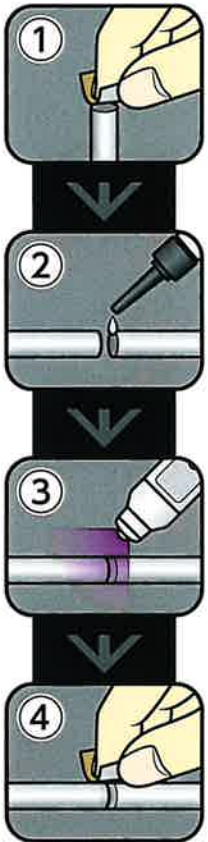


UV接着補修キット / UV接着補修カートリッジ GLUE and REPAIR MATERIALS

使用方法



① 接着面の汚れ・油分を拭き取りきれいにします。接着力を高めるために、接着面をサンドペーパー(#280)で研磨し荒らして下さい。

② チューブ容器のキャップを外し、キャップ先端の突起をチューブの口に突き刺して開け、付属のノズルキャップを装着して下さい。接合したい部分に接着剤を塗りつけて下さい。

※ UVライトを照射しないと硬化しないため、UVライトを照射する部分を確保して下さい。
※ 接合面だけではなく、周りを覆うように塗りつけて下さい。

③ 付属のUVライトを約10秒照射し硬化させます。

※ できるだけUVライトを近づけ色々な角度から照射して下さい。
※ 補修・成形・接着箇所に強度を持たせたい場合には何層も厚く重ね塗りして下さい。一度の硬化は厚み1mm以下で行って下さい。
※ UVライトには、ライトを照射すると光るペンが付いています。接着位置の印付けなどに使用できます。

④ 表面は加工(切断・穴あけ・研磨・塗装)することができます。

使用上の注意

- 屋内で使用して下さい。屋外で使用すると硬化する場合があります。
- 用途以外に使用しないで下さい。
- 体調が悪いときや、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- できるだけ換気の良いところで使用して下さい。
- マスク、メガネ、手袋の保護具を装着して使用して下さい。
- UVライトを直接見たり、目に直射しないで下さい。目に重大な損傷を引き起こすおそれがあります。
- UVライトはできるだけ目から離して目的箇所に照射して下さい。
- 人体への使用はやめて下さい。
- 硬化速度は、UVライトの光度、光源からの距離、塗布した厚み、素材の光透過率などにより変わります。
- 釘・ねじ・プラグの代替品にはなりません。
- 硬化時に発熱します。
- 本品はUVライトの照射により硬化する接着剤です。素材同士を接着する場合、UVライトが接着剤に照射できるように、素材の片方は透明な素材であることが必須です。ただし透明な素材の性質(例:UV吸収剤含有など)、材質によってはUVライトが透過せず、硬化しないことがあります。
- 熱膨張係数(温度の上昇によって体積が膨張する割合)が異なる素材同士を接着した場合、高温時にはがれることがあります。
- 10秒の照射で硬化しにくくなったり、表面がべたつく場合はUVライトの光度が落ちてきていることが考えられます。その場合は電池を交換して下さい。ボタン電池(LR1130)が3個必要です。表面のべたつきは、サンドペーパー(#280)の研磨で取り除くことができます。
- 当社が販売する「UV照射ライト」以外を使用した場合、硬化時間が記載と異なったり、上手く硬化しない場合があるのでご注意下さい。
- 廃棄する場合は直接下水道に流さず、必ずUVライトで硬化させた上で適切に処分して下さい。

保管上の注意

- 幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないよう注意して下さい。
- 使用後はノズルキャップを外し、キャップを閉めた状態で保管し、できるだけ早く使い切ってください。使用後のノズルキャップは、接着剤が硬化しないうちにラッカーうすめ液で洗って下さい。
- 高温で保管すると接着剤が黄変することがあります。直射日光や湿度の高い場所を避け、冷暗所に保管して下さい。

救急処置

● 目に入った場合には擦らず直ちに多量の水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。● 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。● 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときには、医師の診察を受けて下さい。

危険



● 飲み込むと有害 ● 皮膚刺激 ● 強い眼刺激 ● アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ ● 長期または反復暴露による臓器の障害 ● 水生生物に有害

種類: 化学反応形接着剤 / 成分: アクリル系樹脂

製品仕様

商品名	品番	商品サイズ 幅×奥行×高さ(mm)	内箱入数	外箱入数	JANコード
UV接着補修キット	CB-002	101×17×184	10	180	4 970925 303257

[日本製] UVライト:中国製

商品名	品番	商品サイズ 幅×奥行×高さ(mm)	内箱入数	外箱入数	JANコード
UV接着補修カートリッジ 5g×3本セット	CB-003	101×14×150	10	270	4 970925 303264

[日本製]

株式会社 **アサヒペン**

大阪本社 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話06-6930-5001(代)
東京本社 〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16 電話03-3846-6111(代)

札幌支店 〒003-0030 札幌市白石区流通センター4-2-5 電話 011-863-3288 名古屋支店 〒453-0855 名古屋市中村区烏森町4-19 電話 052-485-3821
仙台支店 〒981-3112 宮城県仙台市泉区八乙女4-6-6 電話 022-218-5880 大阪支店 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話 06-6930-5008
北関東支店 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄800番地2 電話 0495-73-3008 広島支店 〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須4-1-58 電話 082-282-0965
東京支店 〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16 電話 03-3846-6112 九州支店 〒813-0011 福岡県福岡市東区香椎1-22-5-201 電話 092-661-3310

お問い合わせ先 お客様相談室 ☎06-6934-0300
受付は土曜・日曜・祝日・年末年始・夏期休暇期間を除く午前9時～午後5時まで

ホームページアドレス
<https://www.asahipen.jp>

No.3562-2109

UV硬化型接着・補修材用途一覧表

☆使用できる基材の一覧表

○の基材に対して本品が使用できます

	使用可否
木材	○
スレート	○
トタン	○
鉄	○
ぶりき	○
ステンレス	○
亜鉛	○
アルミ	○
真鍮	○
ABS	○
塩化ビニル	○
PET	○
ポリエチレン	×
ポリプロピレン	×
アクリル	○
ポリスチレン	○
ガラス	○

☆基材同士の密着組み合わせ一覧表(片方は透明基材であることが必須)

○の組み合わせの基材同士の密着ができます

		透明基材		
		塩化ビニル	ガラス	アクリル
透明基材 または 非透明 基材	木材	○	○	○
	スレート	○	○	○
	トタン	○	×	○
	鉄	×	×	×
	ぶりき	×	×	×
	ステンレス	○	×	○
	亜鉛	×	×	×
	アルミ	×	×	×
	真鍮	×	×	×
	ABS	○	○	○
	塩化ビニル	○	○	×
	PET	×	×	×
	ポリエチレン	×	×	×
	ポリプロピレン	×	×	×
アクリル	×	×	○	
ポリスチレン	○	○	×	
ガラス	○	○	×	